

初恋の3月

今までは犠牲の道でしたが、これからは食口の幸せを願う時代になりました。

昨日三送会という高校三年生を見送る会が行われました。関心持つといいながら、そこに行ってみると親として参加する教会があまりにも少なかったのです。本日、青年を連結するための青年部のスポーツ大会が行われています。東埼玉には高校三年生87名がいるのです。

3月は本当の春なのです。本日行われているさいたまシティマラソンも春を迎える準備であると思います。初恋の3月なのです。子供の話になりますが、最初の子と後の子とは違うのです。長男であればとても大事にされたはずで、初というのはそのようなものです。最初に創造したアダムとエバ、それはとても喜びがありましたが、結果的にエデンの園から追い出さなければならぬ親の心情はどうなのでしょう？本然の春を神様は一度も迎えることが出来ず、悲しみでありました。メシヤを通して本然の子供をエデンの園に取り戻すことをなさなければならず、それが神様がとても喜ばれる春であるのです。

その春の季節を迎え、私たちは何をすればいいのでしょうか？そして我々は生きている木なのでしょう？私自身にその芽が出るのか、出ないかが重要です。その芽というのは、伝道です。繁殖の季節、まさしく春は伝道の季節なのです。

3月は日本にとって忘れられない月でもあります。11日に東日本大震災がありました。真のお父様は日本の震災を見て心を痛められ、復興の塔を建て、日本の国民が忘れないように計画されましたが、日本に入ることが出来ず、ラスベガスに建てるようにされました。それが、Peace Palaceです。7月に完成いたします。

3月は自分が生きているという事を天に示していかなければなりません。4/6は天一国フェスティバルがあります。総会長をお迎えして行う予定です。フェスティバルを通して伝道していかなければなりません。

み言を聞いて神様に会い、感動、感激、喜び、決意を信仰の初恋と言いますが、その事ゆえに皆様があるのです。そして信仰の初恋を守る人を義人と言います。春を迎えた私たちは胸を張って前進していかなければなりません。多くの人に出会っていきましょう。そして声をかけ4/6のフェスティバルに誘って参りましょう。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の御父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2、聖和 2 周年特別精誠期間

TFが聖和され、震災3年を越え2014年7月にラスベガスのPeacePalaceがついに奉獻されることになりました。聖和の直前まで日本を愛してくださったTFの愛を追慕し震災から3年の期間を象徴した3次に渡る2周年特別精誠期間をもって参りますので天一国時代を超えて日本の復興を具体的に天に奉獻して参りましょう。

- 1次:天暦2月3日(陽暦3月3日)～天暦4月2日(陽暦4月30日)
- 2次:天暦4月3日(陽暦5月1日)～天暦6月4日(陽暦6月30日)
- 3次:天暦6月5日(陽暦7月1日)～天暦7月16日(陽暦8月11日)

3、真の御父母様生涯路程親子2DAYセミナー

期間:2014年3月22日(土)～23日(日)
場所:プラザウエスト

4、新青年歓迎礼拝

日時:2014年3月23日(日)午後3時
場所:浦和教会

5、CIG研修会

日時:2014年3月25日(火)午前10:30～
場所:浦和教会 講師:方相逸 局長

6、天一国フェスティバル実行委員会

日時:2014年3月25日(火)午後2:00～
場所:浦和教会

7、浦和ドリームアカデミー開所式

日時:2014年3月25日(火)午後5:00～
場所:さいたま市南区文蔵4-3-9

8、健康講演会

日時:2014年3月26日(木)10:30～
場所:浦和教会

9、第5回 天一国フェスティバル

日時:2014年4月6日(日)
場所:春日部市民会館

10、東埼玉教区 つつじ浄火祭 清平ツアー 3泊4日

期間:2014年5月10日(土)～5月13日(火)
費用:76,000円

11、VISION2020 勝利の為の基台長及び区域長修練会

第12回:2014年4月17日(木)～4月22日(火)
第13回:2014年5月10日(土)～5月15日(木)
第14回:2014年6月19日(木)～6月24日(火)

【年頭標語】

창조주 하늘부모님을 닮은 참사랑을 실천하는 천일국의 참주인이 되자!

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長: 李炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774 / Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

式次第



執礼者：李 炯燮教区長

司会者：西脇基伸成和青年部長

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 聖歌 4番	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	佐藤精五
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	根のある信仰	
※讃 頌 聖歌 21番	全 体
※祝 禱	執礼者
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

光復の直後、韓国の実情は言うに言えない混乱状態でした。お金があっても、米を手に入れることは簡単ではありませんでした。とうとう家に米が無くなったので、買っておいた米を取りに黄海道(ファンヘッド)の白川(ペクチョン)に向かいました。その途中でのことです。

「38度線を越えていきなさい！北の方にいる神様に仕える人々を取り戻しなさい！」という啓示が下りました。

私は即座に、38度線を越えて平壤に向かいました。長男が生まれて二月(ふたつき)しか経っていない時でした。今か今かと私を待つ妻が心配でしたが、家に戻る余裕がありませんでした。神のみ言は厳しいものです。み言を受けたら、従順に即応しなければなりません。創世記から黙示録まで数十回も線を引いて読み、ゴマ粒のようなメモ書きで真っ黒になったぼろぼろの「聖書」1冊だけを携えて、私は38度線を越えていきました。

その時はもう共産党から逃れようと、北から避難民が続々と南下してきていました。特に、共産党が宗教を迫害したので、多くのキリスト教徒が宗教の自由を求めて南側に下ってきました。宗教はアヘンであるとして、民衆に宗教を持たせないようにしたのが共産党です。そのような地に、私は天の召命を受けて向かったのです。牧師であれば嫌う共産党の支配する世界に私は自分の足で歩いて入って行きました。

～自叙伝「平和を愛する世界人として」～

統一運動

真のお母様、ラスベガスに新しい伝道教育チームを編成
今回のラスベガス滞在中に、真のお母様は以下のような、新しい伝道活動のビジョンを発表された。すなわち、地元のラスベガス家庭教会とジェネレーション・ピース・アカデミー(GPA)、そして原理研究会(CARP)の三者が力を合わせて、伝道の焦点を大学(ネバダ大学ラスベガス校)のキャンパスに合わせて、原理教育、真の父母様のみ言学習に力を入れるというものだ。GPAの現在の責任者であるローランド・ブラット、上級リーダーのワタナベ・アキラの2人がこの新しいプロジェクトを牽引することになる。「真のお母様の今年の最優先課題は伝道と青年教育です」とワタナベ氏は言う。「ラスベガスは真の父母様が、新たに天に覚えられる街に変えようとされ、信じられないほどの精誠を注いでこられた戦略的な場所です。真のお母様はこの街への投入を継続されることを決意されています。ここでの伝道と青年教育の成果をモデルにして全米に拡大されるお考えです。」GPAの組織はラスベガスでの活動をこの4月に開始する春の企画、「30日地域伝道」を通して支援する。GPAの修了者はネバダ大学ラスベガス校に入学する事を願われ、そのための奨学金もお母様は用意された。GPAの2年目、3年目のメンバーで伝道活動に意識が向いた人達はラスベガスでアキラ達と活動するはずだ。

